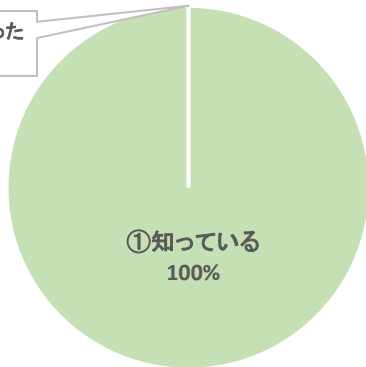


1) 遠賀中間地域の医療機関、居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター、訪問看護ステーション間で統一した書式「入退院時情報共有シート」を作成して活用していることを知っていますか

② 知らなかった
0%

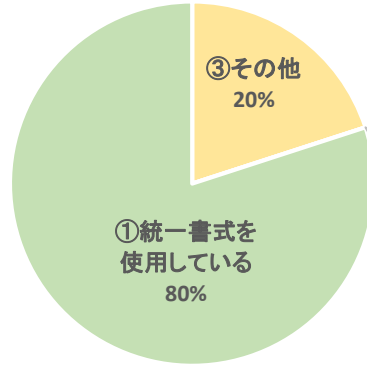


2) 遠賀中間地域内の情報連携において、統一して運用している書式である「入院時情報共有シート」の使用について

③ その他
20%

① 統一書式を使用している
80%

② 統一書式以外(事業所で作成したもの等)を使用している
0%



2-2)「入院時情報共有シート」の運用に関することやその他意見

・使用しているが、急ぎの時は基本情報、ケアプラン等で代用。

3) 入院時における「ケアマネジャーから入院医療機関」への情報提供について

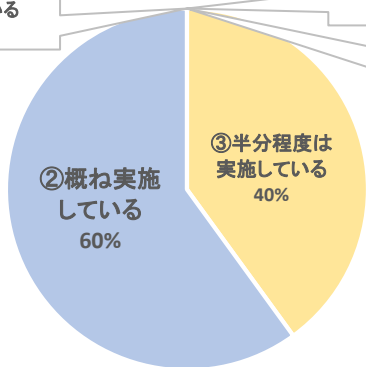
① 全ケースに実施している
0%

⑤ 全く実施していない
0%

④ あまり実施していない
0%

② 概ね実施している
60%

③ 半分程度は実施している
40%



3-2)③④⑤と答えた方:送付に至らなかった理由

- ・電話等で連携する事もある。
- ・依頼が無い為。入退院の期間が短く、入院していることを知らない場合がある。日頃からやりとりがあるので、情報提供の必要性がない。
- ・入院の連携がくるのが遅かったり、口頭で状況を伝えているので、SWさんから下さいと言われたい限りは送っていません。書式に打ち変える作業に30分はかかります。

4) 退院時における「入院医療機関からケアマネジャー」への書面での利用者情報の提供について(書式は問わない)

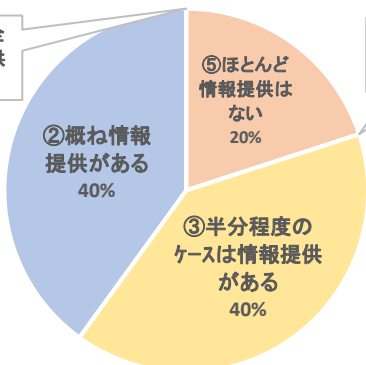
① 該当する全ケース情報提供がある
0%

② 概ね情報提供がある
40%

③ 半分程度のケースは情報提供がある
40%

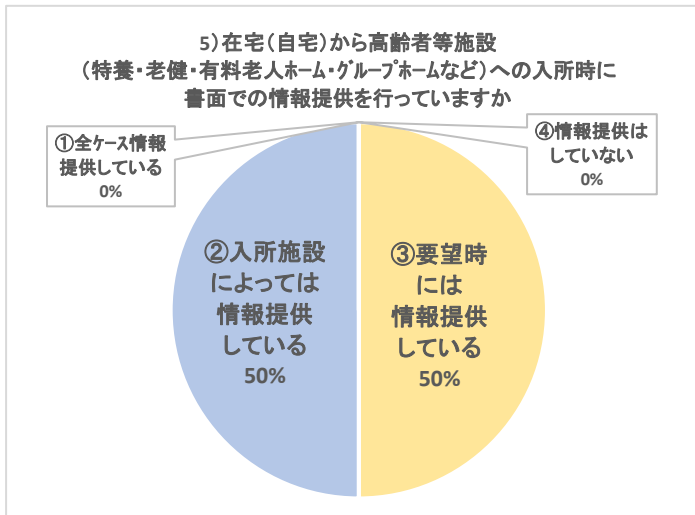
④ あまり情報提供はない
0%

⑤ ほとんど情報提供はない
20%



4-2) 退院時の情報連携や「退院時情報共有シート」に関すること等の意見

- ・退院決定したら早目に知らせてほしい。

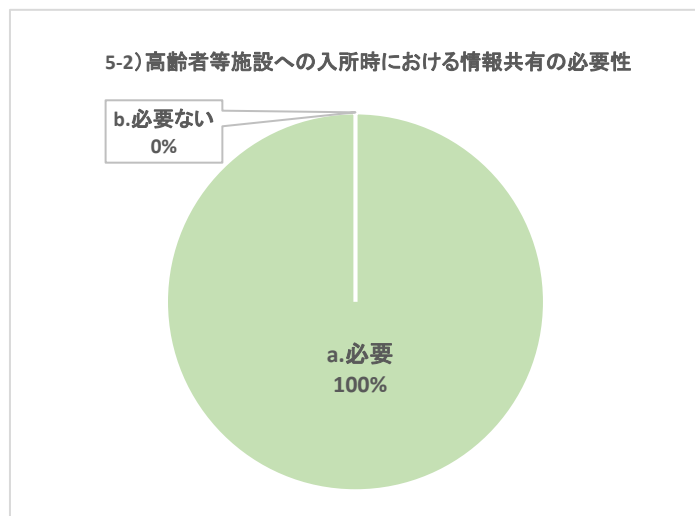


5-1- i) ①と答えた方:特に留意されている点

- ・家族との関係性、本人の生活やこだわりなど。

5-2) ②と答えた方:特に留意されている点

- ・ADL、IADL等、現在の状態が把握できるよう情報を作成している。
- ・電話の連携は必ず行うようにしている。



5-2) 意見

- ・在宅生活の状況を伝え、施設生活に役立てる必要性はあると思います。
- ・住宅型やサ高住など、引き続き利用する場合は必要と考えます。
- ・入所後すぐに必要な支援や対応が受けられ、住まいの変更による環境の変化にスムーズに順応できるための一助として、情報提供は必要と思います。
- ・必要だと感じるが、どこまでの情報なのか線引きが難しい。
- ・施設で情報を取るだろうが、スムーズにいくと思われ、本人や家族の不安を軽減できたらと思う。状況次第で。

6) 医療職・介護職間の連携体制について気づいた点・その他意見

- ・「とびうめ@きたきゅう」(北九州市にあるシステム)のようなシステムがあると良いと思います。
- ・連携はスムーズに行えていると感じている。情報提供する際、(統一した書式ではなく)介護保険被保険者証、ケアプラン、基本情報でもよさそう。病院、施設等においても契約時に情報提供を受けている様子。
- ・施設に入所すると決まりのように訪問診療や訪問薬剤がセットのように付いてくる。必要性が低い利用者の場合、医師への発言などしづらいことから、医師の指示通りとなることが多いので、どのように相談すればよいのか迷うので、何か対応策があればご教示いただきたい。